

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月12日

出席者	参加者	27人	
	議会側	【文教厚生委員会】 景山委員長、大下副委員長、原田委員、中曾委員、岩崎委員、貞岩委員、谷委員 【委員外議員】 下向議員、片山議員、坂元議員、北林議員	
開催日時		令和7年11月21日（金）18：00～19：30	
開催場所		広島国際大学東広島キャンパス 2号館8階多目的室	
実施内容報告	議会報告	テーマ	東広島市の医療政策についての市議会の取り組み
		概要	○文教厚生委員会において、「地域医療の今後の展開について～地域完結型の医療を目指して～」をテーマとし、所管事務調査に取り組んでいることを説明。 ○東広島市の地域医療の現状及び課題について説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制について ・産科（周産期）医療体制について ・小児医療体制について ・かかりつけ医について
		質疑応答	Q 黒瀬町では診療所は概ね揃っているように感じるが、黒瀬町の診療所数は把握しているのか。 A 具体的な数字は把握していないが、黒瀬町は診療所が充実している地域であると認識している。 Q 三次救急整備の見通しは立っているのか。 A 三次救急の計画が立てられたことはあるが、医師の確保に課題があり、現在見通しは立っていない。 令和12年度に広島県が広島駅北口に新病院を開院する計画があるが、本市の圏域で三次救急が整備されていないことは本来のあるべき姿ではないので、発言はしていきたいと考える。
	意見交換	テーマ	東広島市の地域医療について
		地域医療体制について 【参加者意見】 ①委員会で目指す医療のビジョンを教えて欲しい。 ②黒瀬町は合併の際、学園都市と医療の充実を秤にかけた。今となっては医療の必要性を痛感する。 ③中核市になると医療体制は向上するのか。	

実施内容報告	意見交換		<p>④電子カルテについては市としても全医療機関で実施するよう努力すべき。</p> <p>⑤黒瀬に産科がない。</p> <p>⑥卒論で小児慢性特定疾病に取り組んでいる。大学生の間に成人となり助成がなくなる。助成が継続するよう市で取り組めないか。</p>
			<p>【議会側意見】</p> <p>①あらゆる医療が、終末期の看取りを含め地域で完結することを目指したい。</p> <p>②調査研究し、最適な医療体制構築のあるべき姿を追求する。</p> <p>③保健所設置が可能となるが、医療機関新設についてはこの場でお答えできない。交付税が増額となり新規事業に取り組み易くはなる。</p> <p>④国も積極的に取り組んでおり、医療機関の負担が気になるがここ数年でかなり進むのではないか。</p> <p>⑤分娩取扱施設は東広島市全体でも2院しかない。広島県が高度医療・人材育成を兼ね備えた大規模な病院を令和12年度完成予定で計画している。</p> <p>⑥制度の知識がないのでよく調査してみる。</p>
			医療人材の不足について
			<p>【参加者意見】</p> <p>①医師確保の課題はそれほど深刻なのか。</p> <p>②医療の人材不足について、充足させるための新しい制度や補助金などが必要と考える。</p> <p>③医療実習ができる場が少ない。また就職活動の前に医療現場を見る機会が少ない。</p> <p>④市内で働きたいと希望しても難しい。</p> <p>【議会側意見】</p> <p>①医師数は増加している。都市部に医師が集中し、手術時間等負荷の多い外科等の診療科はなり手がなく、それが医師偏在と診療科の不足という問題になっている。</p> <p>②市として様々な補助を行っているが、課題解決には至っていない。</p> <p>③医師会と意見交換する機会が得られた際においては、そういった要望があったことを伝えたい。</p> <p>④雇用対策協議会主催の就職説明会等で医療関係の充実が図られるように取り組む必要がある。</p>

実施内容報告	意見交換	救急医療体制について
		<div>【参加者意見】</div> <div>①救急車をタクシー代わりに使う方がいる。罰則はないのか。</div> <div>②救急車の到着は早くなったが搬送先の決定に時間がかかっている。出発してから走行中に搬送先が決まればよいのでは。</div> <div>③三次救急におけるドクターヘリの要否はどこで判断するのか。</div>
		<div>【議会側意見】</div> <div>①容態の急変等もあるので、その判断は難しいのではないかと。</div> <div>②黒瀬は搬送先が2方向に分かれることもあり、難しいのではないかと。</div> <div>③消防機関等の判断による。</div>
		その他参加者意見
		<div>○黒瀬から大きい病院に通院するとなると交通の便が悪い。</div> <div>○小児科の予約が取りづらい。</div> <div>○発達障がいの専門医が少ない。</div> <div>○大学生と地域の人が交流できる場・まちづくりが望まれる。</div> <div>○黒瀬町の課題はバス便が悪く料金も高いこと。またバイト先や遊ぶところが少ない。学生にとって住みやすい場所とは言えない。</div> <div>○大学を結ぶ格安運賃のバスを運行すべき。</div>
その他 特記事項 (感想・意見等)		議会報告会でいただいたご意見等も参考にしながら、今後も所管事務調査を一層深め、地域医療のあるべき方向性を探っていきたい。

文教厚生委員会議会報告会報告書

報告日：令和7年12月12日

出席者	参加者	13人	
	議会側	【文教厚生委員会】 景山委員長、大下副委員長、原田委員、中曾委員、岩崎委員、貞岩委員、谷委員 【委員外議員】 奥谷議長、上岡議員、鈴木議員、牧尾議員	
開催日時		令和7年11月22日（土）10：00～11：30	
開催場所		安芸津生涯学習センター	
実施内容報告	議会報告	テーマ	東広島市の医療政策についての市議会の取り組み
		概要	○文教厚生委員会において、「地域医療の今後の展開について～地域完結型の医療を目指して～」をテーマとし、所管事務調査に取り組んでいることを説明。 ○東広島市の地域医療の現状及び課題について説明。 <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療体制について ・産科（周産期）医療体制について ・小児医療体制について ・かかりつけ医について
		質疑応答	Q 三次救急医療機関が東広島市にないとのことであるが、どの病院が該当し、どの症状に対応するのか。 A 呉医療センターや広島大学病院などが該当し、生命に関わる重症患者に24時間体制で対応する。東広島市では、東広島医療センターを中心に二次救急医療機関が輪番で対応しているが、対応ができない場合は呉市や広島市の医療機関に頼らざるを得ない現状がある。 Q 東広島市内のどのくらいの医療機関が地域連携の機能を有しているのか。 A 具体的なデータは持ち合わせていない。安芸津地域については、三次救急となると呉医療センターに搬送される可能性が高いものと思われる。 Q 医師を育成している医療機関は県内にどのくらいあるのか。 A 他市では複数の医療機関で初期臨床研修医を受け入れているが、本市では東広島医療センターのみである。 これらのほか、「かかりつけ医に関する広報については、しっかり力を入れていただきたい」とのご意見をいただいた。

実施内容報告	意見交換	テーマ	東広島市の地域医療について
		地域医療体制について	
		<p>【参加者意見】</p> <p>①人口減少社会の中で医療体制を構築しても政策的に無駄ではないか。</p> <p>②高齢者が高齢者を見ている現状で遠くの病院に行くことができない。</p> <p>③病気にならない取り組みが必要と考える。</p> <p>④神奈川県では、保健所と連携し医療機関の分かるマップを作成し、保健所と医療機関の連絡体制を構築している。専門医療についてどこに行けばいいのかわからない。</p> <p>⑤沖縄県や雲南市では、地域住民による自治組織との連携で住民と医療を結んでいる。安全安心について、地域の団体を絞り有償ボランティアで集中的に取り組んでいる。奈良県や岡山県は医療が進んでいる。それを支える病院や医療系大学がしっかりしている。</p> <p>⑥病院の経営状態が悪い。行政が補助等を行い、立て直しを図ってはどうか。医師不足の原因もそこにある。</p> <p>⑦優秀な医師が多くいればよいが、その人材を充足させるための方策が必要と考える。</p> <p>⑧市内で病状、症状に応じた各病院への割り振りを適切に行える司令機関のようなものがあるべき。</p> <p>⑨訪問診療の充実を図ってほしい。</p> <p>⑩県立安芸津病院を地域に密着した医療機関となるようにしてほしい。</p>	
		<p>【議会側意見】</p> <p>①人口減少を食い止めながら、医療体制を充実していく。DXを活用しながら効率化も追及していく。</p> <p>②リモート診療・訪問診療等を進めていく必要があると考える。</p> <p>③大学連携でフレイル予防等「健幸」に取り組まれている。地域サロン等が開かれている。</p> <p>④東広島市には保健所が無い。保健所設置に係る自治体としての要件を満たしていない。医療機関が分かるマップを作成するように検討する。</p> <p>⑤内容を把握し、委員会で検討する。</p> <p>⑥委員会で協議していく。</p> <p>⑦～⑩については、ご意見を承った。</p>	
		救急医療体制について	
		<p>【参加者意見】</p> <p>①救急搬送時間の説明があったが、もっと細かく教えて欲しい。</p> <p>②救急での病院収容時間の短縮は図られているのか。</p>	

実施内容報告	意見交換	<p>③重篤な場合、東広島医療センターか呉の病院に行くとなると時間がかかってしまう。</p> <p>④救急搬送で複数の病院をたらい回しにされた。</p> <p>⑤マイナンバーカードで医療記録が分かるので、救急車内でも利用できるようにするべきと考える。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>①電話から現場到着が１０分、救急患者を車両に運ぶまで１０分、対応医療機関を探すのに１０分、それに医療機関到着までの時間を加えるイメージでよいと思う。</p> <p>②タブレット等の活用により、少しは改善されていると思われる。</p> <p>③ドクターヘリを効果的に利用できればと考える。（「ドクターヘリも天候や血圧等の関係で利用できないケースもある」と指摘をいただいた。）</p> <p>④～⑤については、ご意見を承った。</p>
		<p>かかりつけ医について</p>
		<p>【参加者意見】</p> <p>①どのようにかかりつけ医を見つければよいか。</p>
		<p>【議会側意見】</p> <p>①自分の体質、病歴、家族構成等、患者自身全体のことを知ってもらう医師を身近で見つけることだと思う。近所が望ましいが必ずしも距離の問題ではないと思う。</p>
		<p>その他参加者意見</p> <p>○医療と介護の地域連携はしっかりしていると感じている。</p> <p>○気候が良く、海や山がある自然を生かして、廃校の活用などにより、最後の看取りができる施設を整備・誘致すればよいのではないかと考える。</p>
その他 特記事項 (感想・意見等)		<p>議会報告会でいただいたご意見等も参考にしながら、今後も所管事務調査を一層深め、地域医療のあるべき方向性を探っていきたい。</p>